

始業式挨拶

皆さんおはようございます。4月1日付けで春日丘高校の校長に着任した福留です。よろしく申し上げます。1年生の皆さんには入学式で話をしましたが、全校そろってでは初めてになります。

今日は皆さんに「聴く力」について話をしたいと思います。

昨年、電通総研が高校生から20代の男女3000人に行った調査によると、「人間関係をリセットしたくなることがある」という問いに対して、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答したのが、全体の54.7%と、半数以上に上ったというのです。SNSの普及により気軽に多くの人々とつながることができるようになった分、『付き合い疲れ』を感じている人も少なくないと思われます。

人と出会い、会話のキャッチボールをする「対話の醍醐味」とは、相手とのつながりを育み、刺激あるものに変えていくところにあるとっていいのではないかと思います。決して、「何を話せばいいのか？」と硬く身構える必要はありません。大切なのは、心を通わせることです。求められるのは、「話す力」よりもむしろ、「聴く力」なのです。皆さんの中には、「ただ、話を聴いてくれるだけでうれしかった」という経験のある人もいるかも知りません。

皆さんは「傾聴力」という言葉を聞いたことがありますか。熱心に聴くだけでなく、表情やしぐさなどにも注意し、相手の気持ちを理解する力のことです。「共感力」と言い換えることもできるでしょう。親身になって「聴く」という行為には、言葉以上にこちらの思いを伝え、相手の心を開く力があるものなのです。

春は出会いの季節でもあります。皆さんも今までに話をしたことがなかった人とコミュニケーションをとる機会も多いと思います。相手の表情やしぐさにも注意をしながら、親身になって「聴く」という姿勢で自分の周りの人に接してみてください。

最後になりますが、生徒の皆さん全員が個々の目標に向かって全力で取り組み、目標が達成できたという一年になることを期待して私の始業式の挨拶とします。

平成29年4月10日 大阪府立春日丘高等学校長 福留 明富